

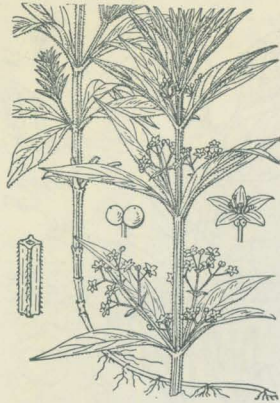
第 3305 図

あかねむぐら

*Rubia jesoensis Miyabe et Miyake*

本州北部北海道の主に海岸又は湿原に生ずる多年生草本。茎は直立し高さ20-60cm、4角で稜に小さい逆刺がある。葉は4枚(内2片が正葉)輪生し、披針形で基は漸次細ってごく短い柄となり、長さ4-8cm巾4-20mm、上面はざらつき、下面には少し毛があり主脈上には小逆刺がある。7-8月、茎中部の葉腋から葉より短い長さ1-3cmの花茎をだし、小白花をやや密に繖房状につける。花冠は径約3mm、深く5裂し、裂片は長卵形でとがり平開する。雄蕊は5本、花柱は2分し、子房は無毛である。果実は双頭状又は一方のみ發育し、分果は球形で径約3mm、黒熟する。

あかね科



第 3306 図

おおあかね

*Rubia hexaphylla Makino*

深山に生ずる多年生草本。茎は長く延び、縦に4-6稜があり、小さい逆刺が生えていて他物にからまる。葉は4又は6枚(内2片が正葉)輪生し、柄は長く4-10cm 小さい逆刺があり、長卵形で先は長く尖り基は浅い心形をなし、長さ4-9cm、幅2-5cm、上面はざらつき下面は主脈上に小逆刺がある。7月、上部の葉腋から花茎をだし、枝をうって淡緑色の小花をやや疎につける。花は径4mm、花冠は5裂し、裂片は卵形でとがる。子房は無毛。果実は大きく長さ1cmに達し、黒く熟す。和名はアカネに比べ各部大形であるので名付けられた。

あかね科



第 3307 図

みやまむぐら

*Galium paradoxum Maxim.*

山地の樹蔭に生ずる多年生の軟かい小草本である。地下茎は横にはい、茎は立上って高さ8-20cm、4角で平滑である。葉は下部では対生し小さく、他は大きさが異なる4枚(内2片が正葉)が輪生し、卵形又は長卵形ではっきりした柄があり、上部の葉ではしばしば先が尖り、長さ8-30mm巾5-18mm、縁に近く短毛がある外は無毛である。6-7月、茎上部に花茎をだし少数の白花をつける。花梗は長さ1-4mm、子房には先が鈎形に曲った刺毛が密に生えている。花冠は径3mm許、もとまで4裂し、裂片は卵形で平開する。果実は双頭状、分果は楕円形で長さ約1.5mm、長い鈎毛が密生している。和名は深山ムグラの意味。

あかね科



らすゆきむぐら

*Asperula trifida Makino*

本州中部以西九州に至る山地に点在する多年生の小草本である。地下茎は細く横にはい、茎は立って高さ10-20cm、4角で平滑である。葉は4-5枚(内2片が正葉)輪生し、長卵形で短い柄があり、長さ6-15mm幅3-8mm、縁や下面中肋には短い上向した刺毛がある。7月、茎上部に枝をうって繖房状に白色の小花をつける。花梗は長さ1-3mm、花冠は漏斗状で長さ約2mm、4中裂し、裂片は卵形で斜上する。雄蕊は4本、花柱は2岐する。果実は双頭状、分果は楕円形で長さ1mm余、ほとんど平滑である。ヨツバムグラ類に似ているが、花冠は漏斗状で明かな筒部あり区別される。

あかね科



ながぼじゅずねのき

*Damnacanthus indicus Gaertner*

var. *giganteus Makino*

(= *D. macrophyllus Sieb.*

var. *giganteus Koidz.*)

三河以西、四国、九州に産する常緑の小灌木である。若枝にはごく細かい毛があり、葉柄の間に小さい3角形の永存性の托葉があるが、刺は全くないか又は長さ1-3mmの小さいものがある。葉は短い柄があり対生し、広披針形で先は長く尖り、やや革質で無毛、長さ4-13cm幅1-3.5cm。4-5月、葉腋に1-3個の白花をつける。萼は鐘状で小さく、花冠は長さ1cm内外、筒部は細長く、先は4裂する。雄蕊は4本で花筒の上部につき、柱頭は4岐する。果は球形で径5mm許、晩秋赤く熟す。ジュズネノキに比べ、葉は大きく少しうすく刺がごく短い。和名は長葉数珠根の木の意味。

あかね科



第 3309 図

だんちょうげ

一名たんちようぼく

*Serissa japonica Thunb.*

var. *crassiramea Makino*

ハクチョウゲの園芸の変種で稀に庭園に植えられている。高さ1m以下の小灌木で、枝は比較的に太く節間がつまみついてきわめて密に葉をつける。葉は小さく長さ1cm以下、長楕円形で先は短く尖り下部は楔形に細まり、無毛で質厚く光沢があり、基の両側に小さい托葉がある。5-6月、密についた短い横枝の葉腋に花をつける。花はほとんど柄なく、萼は小さく長さ2mm、5中裂し、裂片は披針形で尖っている。花冠は帯紫紅白色で径1cm内外、筒部は細く長さ5mm余、裂片は5又は4、倒卵形で先は急に尖り、内側に白毛が生えている。5雄蕊、1雌蕊。ハクチョウゲと同様に二形花をもち、白花の品や八重咲の品もある。和名は段丁花で、その葉が十字形をなし重なって段をなしているのによるのか。

あかね科



第 3310 図